

大学等との連携協力の推進について

平成19年10月17日

独立行政法人宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究本部 大学院教育交流センター長
安部隆士

1. 経緯

- 従来より大学や研究機関(以下「大学等」とする)との協力については、多くの共同研究や大学共同利用システムにおける取り組み等にて連携を密に行っており、さらにJAXA全体として効果的・効率的に大学等と連携を行うことで、JAXA事業の発展を目指すべきとの認識がなされていた。
- ミッションサクセスのための開発業務改革に関する外部委員会(開発業務・組織検討委員会)の報告書にも以下のような記載がなされた。
 - 「学会及び航空宇宙以外の産業界との関係を拡大することにより利益を得る」
 - 「大学との協力協定を結び、優秀な新卒の科学者やエンジニアの採用を積極的に行う必要がある。」
- 上記を受け、**大学等を宇宙航空の研究開発により積極的に取り込みことのできる方策を検討することとした。**

2. 大学等との連携協力の目的

JAXAおよび大学等、宇宙航空・宇宙科学分野の研究活動の主要なプレイヤーの総力を結集し、日本全体としてもっとも効果的、効率的に宇宙航空分野の研究開発を推進する枠組みを実現する。

大学等との連携体制を構築し、大学等が保有する「知」を有効活用することにより、より効果的、効率的なJAXA事業の実施をめざす。

大学等における研究活動を活発化させ、宇宙航空・宇宙科学関係人材の育成、拡充を図る。

3 . 連携強化の取組みについて

- 効果的、効率的なJAXA事業を実施するためには、JAXAが大学研究者に研究のニーズを提供し、大学側がJAXA側に関係技術開発のシーズを提供することが重要である。
- そのための連携施策としては、
 - 人的交流の拡大
 - 共同研究の拡充
 - 新たな協力関係の構築を双方で検討できるような環境の設定等が挙げられる。
- このような施策を推進する一方策として、従来の共同研究や大学共同利用システムにおける協力に加え、さらに包括的な連携協力を進める「機関間の連携協力協定」を連携強化の契機とすることとした。

4 . 機関間の連携協力協定の基本的枠組み

【協力内容】

- 共同研究の推進
- 人材交流
- 教育・人材育成の推進
- 研究施設、設備等の相互利用
- その他、本協定の目的遂行上、双方が必要と認める内容

【協定の運営について】

- 相互に密接な連携・協力を保ち、連携協力事業の円滑かつ積極的な推進を図るため、大学及び機構の代表者で構成する「連絡協議会」を設置する。
- また連絡協議会の下に、必要に応じて「専門部会」や「分科会」といったワーキンググループを設置し、主担当者を明確にしたうえで、連携協力事業の具体的案件の検討を行うとともに、活動状況を定期的に連絡協議会に報告する。

5. 機関間の連携協力協定の実績

東北大学との包括的組織間協定 (H19.8月締結)

【具体的な協力計画】

- 小型科学衛星の共同検討
- 東北大学大学院工学研究科に連携講座を設置予定 (平成20年度開講予定)

東京大学との包括的組織間協定 (H19.10月締結)

【具体的な協力計画】

- 東京大学大学院工学系研究科に連携講座を開設予定 (平成20年度開講予定)
- これまで双方で行ってきた学際理工学講座が20年目を迎えるにあたり、記念シンポジウムを開催予定 (平成19年11月26日)
- 航空科学技術関係ワークショップの定期的な開催を検討しており、初回は本年12月を予定。

6. 今後の予定

- JAXA全体における大学等との連携強化に関する企画・立案及び推進、全体のとりまとめを実施するための内部体制の充実を検討している。
- 今後も組織的な連携強化が有効であると判断される大学等との連携協力協定を締結していく。
- 連携協力協定以外でも、宇宙航空分野における重点強化研究項目に対し、大学等における「知」を効果的に活用できるような施策を検討、実施する。
- JAXA及び大学の研究者が円滑な研究交流できるような環境整備を行う。

(参考) 大学との協力関係一覧

